

第 4 回豊橋市都市交通計画検討委員会からの変更点について

第 4 回豊橋市都市交通計画検討委員会(令和 7 年 8 月 18 日)からの意見と変更点

○評価指標(28, 29 ページ)

本計画は、地域公共交通計画と総合交通戦略の複合であるが、評価指標が地域公共交通計画寄りであるため、両方の観点から評価できるような指標を再考すべきと意見があったため、以下のとおり修正した。

変更前	変更後
<p>評価指標</p> <p>全体「地域公共交通の 1 日当たりの利用者数」</p> <p>個別「公共交通の利用のしやすさの満足度」※1</p> <p>「歩いて暮らせるまち区域の人口」</p> <p>「公共交通への公的資金投入額」※2</p>	<p>評価指標</p> <p>全体「公共交通・自転車・徒歩の分担率」</p> <p>個別「地域公共交通の 1 日当たりの利用者数」</p> <p>「公共交通による人口カバー率」</p> <p>「歩いて暮らせるまち区域の人口」</p> <p>「まちなかへお出かけする際の公共交通・自転車・徒歩の選択率」</p> <p>「公共交通を支え育もうと思う人の割合」</p> <p>「市内交通事故における人身事故件数」</p>

※ 1、※ 2 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会で毎年確認するものとして追跡していきます。

○参考資料の作成(別冊)

評価指標の指標値の算出根拠を示すべきと意見があったため、別冊の資料編に記載した。

○用語集の作成(57 ページ)

専門用語がまとめられた章があると良いと意見があったため、巻末に記載した。

○その他表現の修正

- ・ バリアフリー車両について(35 ページ)
 - バリアフリー対応のバス車両についても記載してほしいと意見があったため、「低床車両の電車やバス」を追記した。
- ・ 多目的屋内施設の開業に伴う交通環境の向上 (36 ページ)
 - 多目的屋内施設の整備に関連して、まちづくりと連携するような記載があると良いとの意見があったため、「多目的屋内施設での興行時において、企画乗車券や割引クーポン券等による公共交通の利用を促進するとともに、まちなかでの飲食や交流を促すことでまちなかのにぎわいや回遊性の向上を目指します。」と追記した。
- ・ 公共交通のトータルデザインの表記について(39 ページ)
 - 「公共交通機関ごとのデザインルールを設ける」という表記とした。
- ・ 災害連携について (42 ページ)
 - 「災害時における交通情報等の情報共有体制の整理と強化を目指します」を追記した。